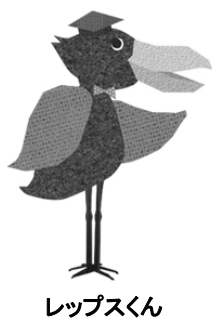


地球規模課題対応
国際科学技術協力プログラム
平成24年度 公募について



独立行政法人科学技術振興機構
地球規模課題国際協力室

2011.10.21 於JST東京本部

SATREPS

- プログラムの概要
- 平成24年度公募の概要
- 応募方法について

SATREPS

プログラムの概要

SATREPS

3

プログラムの趣旨

「ODAとの連携を通じた科学技術外交の強化」

地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS)

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

【目的】

開発途上国のニーズを基に、地球規模課題を対象とし、将来的な社会実装*の構想を有する国際共同研究を政府開発援助(ODA)と連携して推進し、地球規模課題の解決および科学技術水準の向上につながる新たな知見を獲得する。また国際共同研究を通じて開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図る。

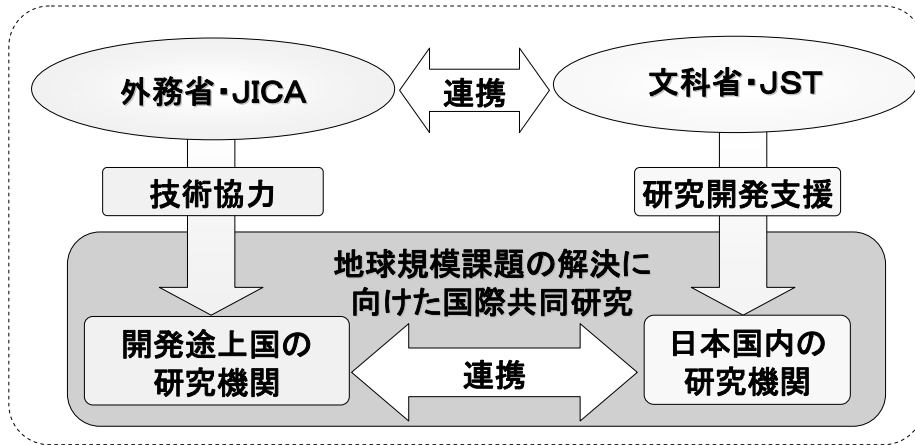
*具体的な研究成果の社会還元

SATREPS

4

プログラムの趣旨

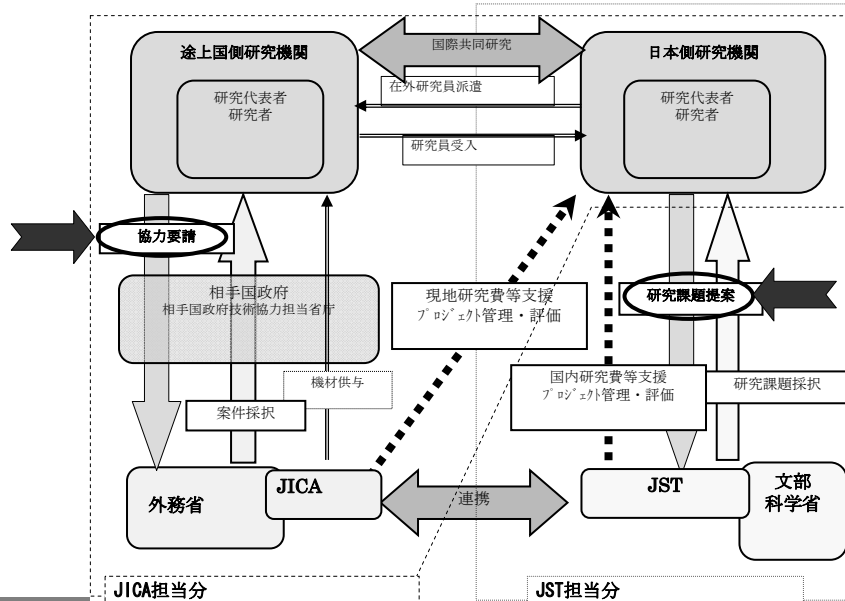
JSTと独立行政法人国際協力機構(JICA)が連携して、地球規模課題を対象とする開発途上国との国際共同研究を推進



SATREPS

5

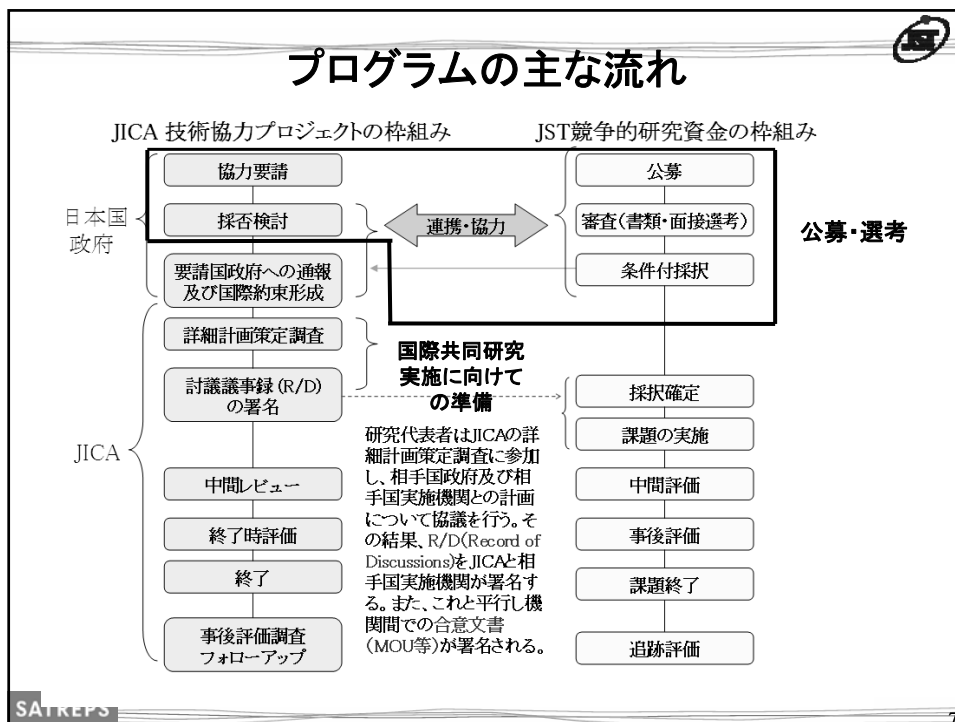
プログラムの実施体制



SATREPS

6

プログラムの主な流れ



国際共同研究実施に向けての準備

国際共同研究を実施するにあたって、

- 相手国研究実施機関等とJICAとの間での、技術協力プロジェクトの実施内容の合意のための、討議議事録 R/D [Record of Discussions]
- 研究機関(当事者)間で共同研究に関わる合意文書 MOU [Memorandum of Understanding]

が署名されることが必要となります。

国際共同研究実施に向けての準備

ただし、最終的に相手国の状況等によってはR/Dの署名が不可能となることがあります。R/D署名が不可能となる場合は、条件付採択決定後であっても、不可能であることが判明した時点で、研究中止となります。

また、R/Dの交渉等に時間を要し、採択年度末(平成25年3月末)までにR/Dの署名がされておらず近日中に署名される見込みのない場合も、研究中止となります。

平成24年度公募の概要

はじめに

この公募は平成24年度予算に基づいて推進される課題を募るものですが、本プログラムはODAとの連携事業であり、相手国機関との調整にも時間を要することから、課題採択後のすみやかな研究開始を可能とするために、予算成立に先だって募集を実施しております。

したがって、予算成立の内容に応じて、研究領域の内容、委託研究費、採択件数等の変更が生じる場合や、追加資料の提出等をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

公募・選考に関する最新情報については、下記ホームページに掲載しますので、適宜、ご参照下さい。

<http://www.jst.go.jp/global/koubo.html>

平成24年度公募要領の主な変更のポイント（1/3）

1. 研究分野・領域について

・研究分野・領域が複数にまたがる提案課題（境界領域の課題）については、提案時に複数分野にまたがる境界領域としての応募である旨、指定頂きます。

・共同研究を通じて東日本大震災からの復興・再生にも貢献すると考えられる課題の提案を奨励します。その際どのように貢献が可能であるかなどその関連性について提案書に記載頂きます。

2. 選考の観点等について

・グローバル化に対応した若手研究人材の育成の重要性に鑑み、「研究代表者が45歳未満の若手研究者」又は「（研究実施期間中に研究に従事する予定の）日本側研究チームの半数以上が35歳以下の若手研究者」を中心とした体制で構成される課題の積極的な提案を奨励します。これらの基準に沿って研究体制の構築を図っている課題については、相対的に高く評価する場合があります。

平成24 年度公募要領の主な変更のポイント (2/3)

3. 第三国の研究者の参加について

・(相手国でない)第三国に所在する研究機関に所属する研究者が共同研究に参加することは原則できません。ただし、ワークショップ等に招聘することは可能です。また、共同研究参加機関での身分を有し、その所属機関の管轄下で研究に参加することは可能です。

平成24 年度公募要領の主な変更のポイント (3/3)

4. SNS【Friends of SATREPS】への登録等について

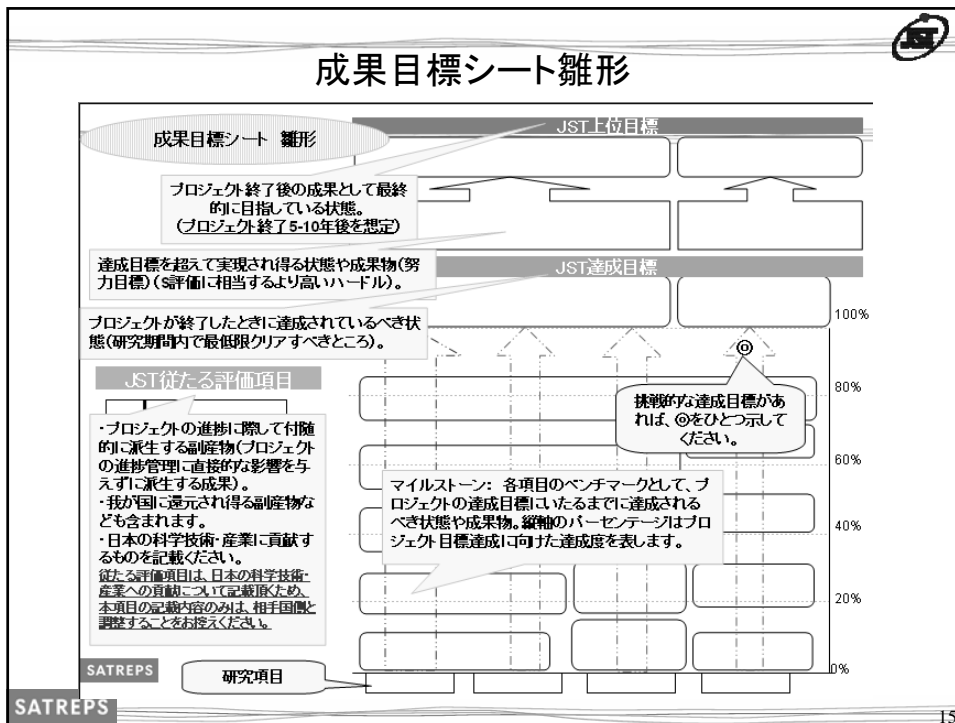
本年6月から運用を開始した本プログラムのSNS(ソーシャルネットワークサービス)『Friends of SATREPS』への会員登録(研究代表者及び研究チーム参加予定者(相手国を含む))、提案課題に関するオンラインコミュニティの作成をお願いします。



5. 成果目標シートの作成について

成果目標を明確にした提案にさせていただくため、JSTの課題評価のツールである『成果目標シート』の作成を提案書様式2内で求めます。作成についての詳しい説明、雛形については、以下のページにアクセス下さい。

<http://www.jst.go.jp/global/pdf/jst-seika-sheet.ppt>



分野・研究領域

分野 (研究領域)	採択・選定 予定件数*	研究期間	JSTからの 委託研究費*
環境・エネルギー分野 ① 「地球規模の環境課題の解決に資する研究」(環境領域)	合計で 15件 程度	3~5年	年間38百万円 【間接経費を含む】 程度 (5年計画であれば 総額1.9億円程度)
環境・エネルギー分野 ② 「低炭素社会の実現に向けたエネルギーシステムに関する研究」(低炭素エネルギー領域)			
生物資源分野 ③ 「生物資源の持続可能な生産・利用に資する研究」			
防災分野 ④ 「開発途上国のニーズを踏まえた防災科学技術」			
感染症分野 ⑤ 「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」			

※予算概算要求段階の予定件数、委託研究費であり、厳しい財政状況の中、件数が減じられることがあります。

SATREPS

分野・研究領域

研究分野・領域が複数にまたがる提案課題の扱いについて

研究分野・領域が複数にまたがる提案課題については、従前は必ず一つの研究分野・領域にしぼって応募いただいておりますが、今回の募集から、提案書(様式1)「研究分野・領域」において複数の分野・領域を選択していただいた上で、境界領域の課題として提案を受け付けます。

例: 感染症分野と生物資源分野にまたがる提案課題の場合
→ 「感染症分野」と「生物資源分野」にまたがる「境界領域」の課題として提案を受け付けます。

分野・研究領域

研究分野・領域が複数にまたがる提案課題の扱いについて(続き)

例: 感染症分野と生物資源分野にまたがる提案課題の場合

様式1 提案書

- ・様式1の情報は採択後に一般に公開される予定です。A4用紙2〜3枚程度以内で記載下さい。
- ・(a)〜(j)の項目はe-Radへ直接入力いただく必要がある項目です。詳細は、(別添5)の6. e-Radへの入力項目について(95〜96ページ)を参照下さい。
- ・日本国内並びに相手国研究機関が複数参画する場合は、全ての機関名および各機関の役割を次頁の実施体制概念図に明確に示して下さい。

研究分野・領域(環境、低炭素エネルギー、防災、**感染症**、**生物資源**、**境界領域**)

※提案課題の該当する分野・領域に○を付けて下さい(原則1つですが、1つに絞れない場合は複数選択し、かつ境界領域を選択して下さい)

(a) 提案課題名(日本語)	提案課題名にサブタイトルはつけないで下さい。
(英語)	英語での課題名は相手国研究機関と十分調整いただき、 相手国からのODA技術協力の案件名と同じ課題名 を記載下さい。
	年間

研究分野・領域が複数にまたがる提案課題の扱いについて e-Rad上での「境界領域」の申請について

Research and Development
e-Rad 府省共済研究開発管理システム

>>> 受付中公募一覧

境界領域

「境界領域の有無」が「有」の場合は、所属研究機関の専任担当者の承認が必要です。
「専任承認の有無」が「無」の場合は、所属研究機関の専任担当者の承認は必要ありません。
「専任承認の有無」が「有」の場合は、専任承認の有無が「有」の場合、申請受付終了日時までに応募情報の提出してください。
「専任承認の有無」が「無」の場合は、応募受付終了日時までに応募情報の提出してください。

境界領域を選択される方は、境界領域の「応募情報入力」をクリックし、入力を開始してください。

公募名	公募要領	Word PDF	Word PDF	一次書	URL	機関承認の有無	応募受付開始日	機関内締切日	応募受付終了日	応募情報入力
平成24年度 境界領域 応募する研究分野・領域が一つに定まらない場合における公募					平成24年度 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究課題募集のご案内	無	2011年10月11日 4時00分	2011年12月08日 12時00分	2011年12月08日 12時00分	応募情報入力
平成24年度 環境・エネルギー研究分野「低炭素社会の実現に向けたエネルギーシステムに関する研究」					平成24年度 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究課題募集のご案内	無	2011年10月11日 4時00分	2011年12月08日 12時00分	2011年12月08日 12時00分	応募情報入力
平成24年度 生物資源研究分野「生物資源の持続可能な生産・利用に関する研究」					平成24年度 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究課題募集のご案内	無	2011年10月11日 4時00分	2011年12月08日 12時00分	2011年12月08日 12時00分	応募情報入力
平成24年度 感染症研究分野「感染症上層のニーズを踏まえた感染症対策研究」					平成24年度 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究課題募集のご案内	無	2011年10月11日 4時00分	2011年12月08日 12時00分	2011年12月08日 12時00分	応募情報入力
平成24年度 防災研究分野「防災技術上のニーズを踏まえた防災科学研究」					平成24年度 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究課題募集のご案内	無	2011年10月11日 4時00分	2011年12月08日 12時00分	2011年12月08日 12時00分	応募情報入力
平成24年度 環境・エネルギー研究分野「地球規模の環境課題の解決に関する研究」					平成24年度 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム 研究課題募集のご案内	無	2011年10月11日 4時00分	2011年12月08日 12時00分	2011年12月08日 12時00分	応募情報入力
産学共創基礎基盤研究 技術テーマC					産学共創基礎基盤研究プログラム					

SATREPS

19

対象となる相手国と相手国研究機関

対象となる相手国

公募要領64ページをご覧ください。

(計137カ国: アジア25カ国、中東11カ国、アフリカ47カ国、北・中南米32カ国、欧州8カ国、大洋州14カ国)

相手国研究機関

公共性のある活動を行っている大学、研究機関等
(ただし軍事関係を除く)

SATREPS

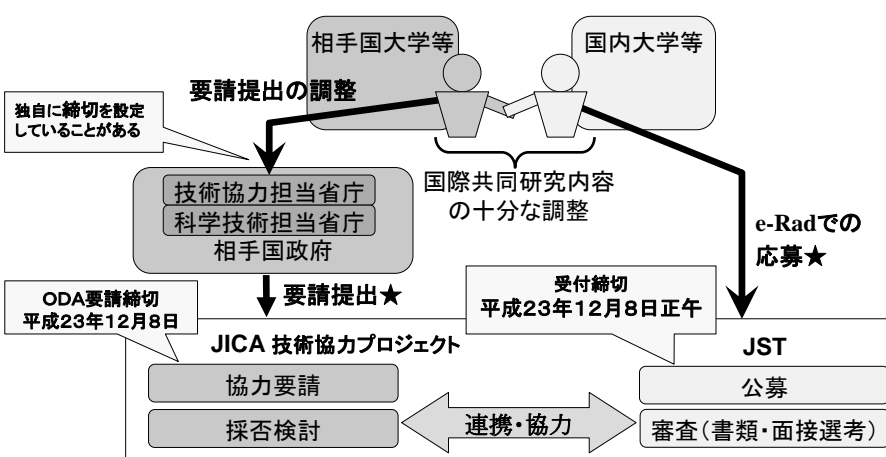
20

対象となる相手国と相手国研究機関

No.	地域	国名等	No.	地域	国名等	No.	地域	国名等
1		アゼルバイジャン	37		アンゴラ	84		アルゼンチン
2		アルメニア	38		ウガンダ	85		アンチグア・バーブーダ
3		インド	39		エチオピア	86		ウルグアイ
4		インドネシア	40		エルドリア	87		エクアドル
5		ウズベキスタン	41		ガナ	88		エルサルバドル
6		カザフスタン	42		カボベルデ	89		カイマン
7		カンボジア	43		ガボン	90		キューバ
8		キルギス	44		カメルーン	91		クアチマラ
9		グルジア	45		ガブア	92		クレタ
10		スリランカ	46		ギニア	93		コスタリカ
11		タイ	47		ギニアビサウ	94		コロンビア
12		タジキスタン	48		ケニア	95		シヤマイカ
13		トルクメニスタン	49		コトシボール	96		スリナム
14		ネパール	50		コモロ	97	北	セントクリストファー・ネーヴィス
15	アジア	パキスタン	51		コンゴ共和国	98	中	セントビンセント
16		ハンガリー	52		コンゴ民主共和国	99	南	セントルシア
17		キューバ	53		サンタ・フィレンツェ	100	米	トリニダード・トバゴ
18		ブータン	54		ザンビア	101		ニカラグア
19		パナマ	55		シエラレオネ	102		ハイチ
20		マレーシア	56		シブチ	103		パナマ
21		ミャンマー	57		ジンバブエ	104		パラグアイ
22		モルディブ	58		スーダン	105		ハラルトス
23		モンゴル	59		スワジランド	106		フランス
24		ラオス	60	アフリカ	セーシェル	107		ペルー
25		アフガニスタン	61		赤道ギニア	108		ベネズエラ
26		アルジェリア	62		セネガル	109		ペルー
27		イラク	63		タンザニア	110		ボリビア
28		イラン	64		チャド	111		ホンジュラス
29		エジプト	65		中央アフリカ	112		エルドリア
30		トルコ	66		トゴ	113		アルバニア
31	中東	チリ	67		ナイジェリア	114		ウクライナ
32		パプアニューギニア	68		ナイジェリア	115	欧州	コソボ共和国
33		モロッコ	69		ニジェール	116		セルビア
34		ヨルダン	70		ブルキナファソ	117		ボスニア・ヘルツェゴビナ
35		レバノン	71		ブルキナファソ	118		マダガスカル
36			72		ベナン	119		モルドバ
			73		ボツワナ	120		モンテネグロ
			74		マウリタニア	121		キルギス
			75		マリ	122		クック諸島
			76		南アフリカ共和国	123		サモア
			77		南スーダン	124		ツバル
			78		モリシャス	125	大洋州	ソロモン諸島
			79		モリタニア	126		トンガ
			80		モザンビーク	127		ナウル
			81		リベリア	128		ニウエ
			82		ルワンダ	129		バヌアツ
			83		レソト	130		バプアニューギニア
						131		パラオ
						132		フィジー
						133		マニラ
						134		ミクロネシア
						135		
						136		
						137		

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムの対象国

公募から採択決定までの流れ



研究提案にあたってのご注意

★研究提案は「府省共通研究管理システム：
e-Rad」より行って下さい。

★日本側の研究代表者の所属機関の機関長からの
承諾書を提出いただきます。(提案書類 様式9)

*所属機関長とは学長、理事長等であり、部門長、学科長、センター長等のいわゆる下部組織の長ではありません。

★相手国政府より技術協力プロジェクトの協力要請
の提出が必要です。(協力要請の外務省(本省)到着締め切りは日本
時間平成23年12月8日(木)を予定しておりますが、通常相手国政府ではこの締
切日より前に締切を設定していますので留意ください。)

承諾書の提出がなされていない場合、協力要請の
提出がなされていない場合は、「要件未達」と判断し、
選考を行いません。

研究期間

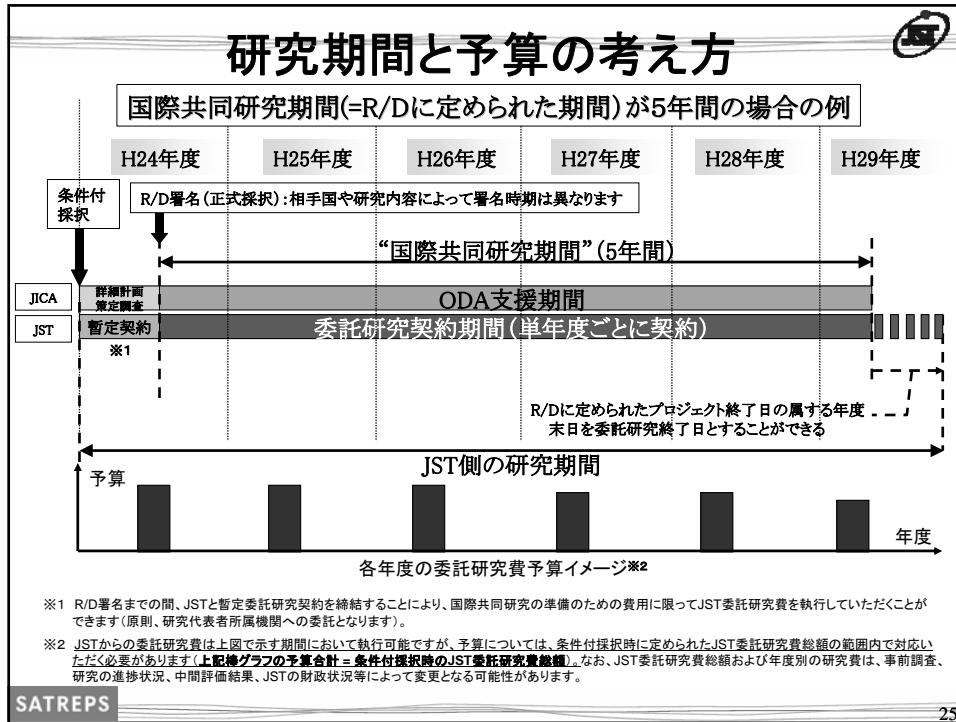
研究期間： 3～5年間

本事業における研究期間(国際共同研究期間)は、相手国研究
実施機関等とJICAとの討議結果に基づく討議議事録R/D
[Record of Discussions] により最終的に決定されます。つまり、
R/Dに記載された期間が国際共同研究期間となります。

相手国の状況等によってはR/Dの署名に時間を要することがあ
ります。その場合R/D署名後速やかに国際共同研究を開始する
ために、R/D署名前であっても、日本側での研究準備の目的に
限って、JSTからの委託研究費を研究代表者所属機関において
暫定的に執行していただくことが可能です。*

※ただし、最終的にR/Dの署名が不可能となった場合は、研究
中止となり、JSTからの委託研究費もその時点で執行できなくな
ることをご承知おきください。

研究期間と予算の考え方



研究経費

JST経費:年間38百万円【間接経費を含む】程度
(5年計画であれば1.9億円程度)

経費	JST	JICA
A) 日本国内での研究費	●	
A) 相手国以外での研究費 (第三国出張費、現地諸経費等)	●(注1)	
B) 相手国内での研究費	▲(注2)	●(注3)
B) 相手国からの招聘旅費		●
C) 日本と相手国間の旅費		●

(注1) 第三国の研究機関との共同研究は対象外です。

(注2) 相手国においてJICAが負担できない研究費のうちJST委託研究費で負担可能なものに限ります。(現地ポスドク、現地テクニシャン等の雇用経費についてはJST/JICAに相談して下さい。対応できるケースがあります。)

(注3) 相手国内での研究費には、日本側の研究者が国際共同研究を相手国内で実施する上で必要な設備・備品・消耗品費を含みます。(JICAからの経費は相手国の自立発属性を重視するODA技術協力における支援であるため、相手国側の自助努力が求められます。)

したがって、**相手国側の人件費、相手国における事務所借上費、相手国側が使用する消耗品、相手国側研究者の相手国内旅費等は、原則として相手国側負担**となります。詳細は公募要領の23～25ページをご参照下さい。

公募・選考スケジュール

予定
(変更の
可能性が
あります)

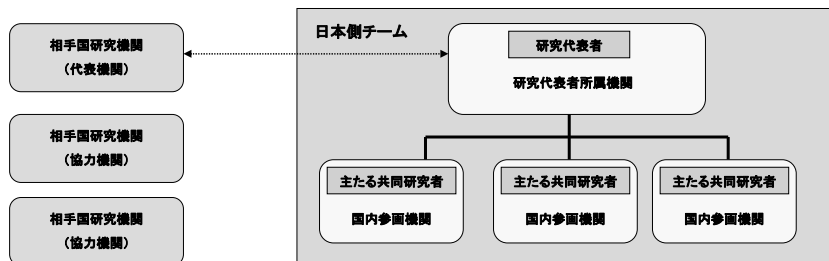
募集開始	平成23年10月11日(火)
受付締切	平成23年12月8日(木)正午【厳守】
書類選考期間	平成23年12月下旬～平成24年3月下旬
書類選考結果の通知	平成24年3月頃
面接選考期間	平成24年4月初旬～4月下旬
決定・通知	条件付採択※決定・通知
	平成24年5月中旬頃
国際共同研究開始	平成24年6月以降でR/D署名後

※条件付採択決定とほぼ同時期に相手国政府へのJICA技術協力プロジェクトとしての採択通知がなされます。その後、JICAと相手国研究機関等とのR/Dの署名が成立した研究課題から、正式に採択決定となり、国際共同研究の開始となります。なお、条件付採択結果の公表については、原則として条件付採択通知以降、然るべき時期に行うことを想定しています。

応募者(研究代表者)の要件

- 当該国際共同研究の研究代表者として、かつ、JICA技術協力プロジェクトにおける総括担当者としての責務を果たし、国際共同研究に従事できること。特に、条件付採択後に行われる国内におけるJICAとの打ち合わせ(3～5回程度)、および現地における詳細計画策定調査(平成24年7月～9月にかけて10～14日間程度を想定)等への参加をスケジュール上、優先できること。
- 研究代表者自らが、国内の研究機関に所属して当該研究機関において研究を実施する体制ができること。(注)研究実施期間中に研究代表者が定年等を迎える場合は所属機関長からの承諾書(様式9)に学内での身分保障等を必ず明記してください。
- 研究実施期間を通じ、国際共同研究全体の責務を負うことができる研究者であること(JICAの技術協力プロジェクトにおける総括担当者として国際共同研究に従事していただきますので、定期的に相手国へ渡航しプロジェクト全体の運営管理にあたる必要があります。また、研究実施期間中の研究代表者の都合での一方的な研究中止は原則として認められません)。
- 研究代表者自らの研究構想に基づき、当該研究課題を実施する最適な研究チームを編成し、リーダーシップを発揮しつつ、自らも当該研究課題に従事できる研究者であること。

研究チームの要件



- 研究代表者は、公共性のある活動を行っている研究機関等に所属する研究者である必要があります。
- 日本国内の研究チームに民間企業等を含めることは可能です。
- 相手国研究機関は公共性のある活動を行っている大学・研究機関を想定しています。
- 第三国に所在する研究機関に所属する研究者の参加は原則不可です(p13参照)。

選考の観点 (1)

- 本プログラムの趣旨および、研究分野・研究領域の趣旨に合致していること
- 相手国にニーズがあり、かつ日本の相手国に対するODAの方針にも合致していること
- 国際的に高く評価される研究開発であって、科学技術水準の向上につながること
- 将来的な社会実装の構想があること(研究期間中に必ずしも取り組まなければならないものではないが、研究計画において想定される研究成果を将来的に社会還元へ結び付けるための活動の道筋がはっきりしていること)
- 相手国側研究者との具体的な共同研究計画があり、相手国での研究の代表者が明確で、相手国側において研究を実施できる組織的な体制が整っていること

選考の観点（2）

- 研究代表者（およびその国内共同研究者）の所属機関は、当該共同研究を担う上で必要な国際交流活動基盤を有しており、十分な支援と協力をを行う意思を有していること
- 相手国研究機関との共同研究を推進する上で、研究のコストパフォーマンスも考慮された適切な研究計画（資金計画も含む）があること
- 日本における科学技術の発展、日本の若手研究者の育成、日本の科学技術の相手国および世界への効果が見込まれること
- 研究代表者がJICAの技術協力プロジェクトにおける研究チームの総括担当者として国際共同研究を推進する強い意志と熱意があり、かつ信頼に基づく強いリーダーシップを発揮できること
- 相手国研究機関の協力要請がJICA技術協力プロジェクトにおいても採択される見込みがあること

SATREPS

31

選考の留意事項（1）

- 課題の選考にあたっては、研究水準の高さとともに、研究計画が総花的でなく、内容が絞られ、かつ具体性の高い課題であって、研究成果の社会還元の時期的を含めた道筋が明確である課題が高く評価されます。なお、長期的で幅広い視点（例：生物多様性の確保など）にも留意して評価します。
- 課題の選考にあたって、アフリカ地域については、人材のキャパシティ・ビルディング、現地調査の実施と分析、そして適正技術・問題即応技術の開発・適用が重要であり、その観点からも選考を行います。
- 若手研究人材育成の重要性に鑑み、「研究代表者が45歳未満の若手研究者」又は「（研究実施期間中に研究に従事する予定の）日本側研究チーム（様式3記載分）の半数以上が35歳以下の若手研究者」を中心とした体制で構成される課題の積極的な提案を奨励します。これらの基準に沿って研究体制の構築を図っている課題については、相対的に高く評価する場合があります。

SATREPS

32

選考の留意事項(2)

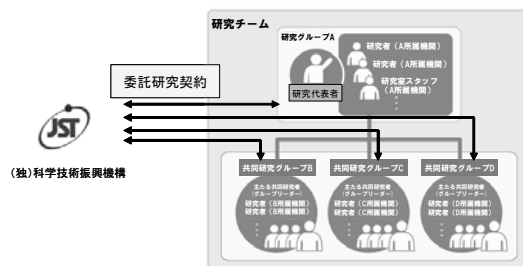
- 開発途上国の地域毎の特性を生かした戦略として、過去に日本のODA等で整備された拠点(研究機関、大学等)、当該地域の優れた研究拠点の活用が期待されます。
- ODA連携であることから、相手国の開発戦略政策等を踏まえ、相手国の行政機関等も含めた組織的な取組みが期待されます。
- 共同研究相手国や地域については、相手国や地域の適切なバランス(過度の集中が生じないことも含む)が求められる等、外交政策および科学技術政策を考慮して評価することがあります。
- 平成20年度から平成23年度までに採択されている課題と類似の研究提案については、「研究の目的、対象、アプローチ、実施地域等から判断して、研究内容に本質的な差異が認められるか」、または、「既存類似課題と競争的に研究を推進することにより、地球規模課題の解決に資するより大きな成果が期待できるか」、といった観点からも選考を行います。

選考の留意事項(3)

- 本プログラムにおいては原則1カ国と共同研究を行うこととしますが、地球規模課題対応というプログラムの性質に鑑み、本プログラムの成果が、相手国のみならず周辺地域にも広く効果を及ぼすような課題を歓迎します。複数国間共同研究課題の選考にあたっては、複数国で実施することによる相乗効果が期待される課題が高く評価されます。本プログラムにおいては原則1カ国と共同研究を行うこととしますが、地球規模課題対応というプログラムの性質に鑑み、本プログラムの成果が、相手国のみならず周辺地域にも広く効果を及ぼすような課題を歓迎します。複数国間共同研究課題の選考にあたっては、複数国で実施することによる相乗効果が期待される課題が高く評価されます。

研究機関の責務

- JSTは研究代表者および、主たる共同研究者の所属する研究機関との間で、原則として委託研究契約を締結します。



各所属機関は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づき、委託研究費の管理・監査体制を整備していただくことが求められます。

- JICAは研究代表者の所属機関と技術協力に関する取極めを交わします。
- 相手国研究機関と日本側の研究機関との間で、研究成果の取扱等に関する合意文書(MoU)を取り交わします。

知的財産等の取扱いに関して

- 研究代表者の所属する研究機関は、国際共同研究の相手国研究機関との間で共同研究の実施に関する合意文書(MOU)を取り交わします。
- 合意文書においては、共同研究により生じた知的財産の取扱い、秘密情報の取扱い、成果の公表、損害が生じた場合の取扱い、相手国の生物資源等へのアクセス・持ち出し等について定めていただきます。
- R/Dの内容と平仄をあわせるため、合意文書の締結時期は、JICAが相手国研究機関とR/Dを行うのと同じタイミングが適切です。なお、国内の共同研究者所属機関も研究代表者所属機関が取り交わした合意文書を遵守する必要があります。



その他注意事項

- 相手国への研究機材の輸出のみならず、技術データや技術支援についても輸出規制の対象となり得るため、「安全保障貿易管理に係る機微技術管理ガイダンス(平成22年2月)」等を遵守いただきます。
- ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理及び安全の確保に関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等及び国際ルール等を遵守いただきます。
- 相手国におけるサンプルや試料を必要とする研究又は調査を含む場合は、生物資源等の取り扱いについて、必ず応募に先立って適切な対応をしていただきます。
- 研究計画上、相手方の同意・協力や社会的コンセンサスを必要とする研究又は調査を含む場合には、人権及び利益の保護の取扱いについて、必ず応募に先立って適切な対応を行っていただきます。



応募方法について

応募方法について(1)

平成24年度の研究
提案は、府省共通研
究開発管理システム
(e-Rad)により行っ
ていただきます。

ポータルサイト
<http://www.e-rad.go.jp/>

研究者と所属研究
機関による登録が
必要です。

The screenshot shows the e-Rad portal interface. At the top, it says 'e-Rad 府省共通研究開発管理システム'. Below that, there's a header with contact information: 'フリーダイヤル 0120-066-877 平日 9:30 ~ 17:30'. The main content area is divided into sections for '最新のお知らせ' (Latest News) and '配分機関からのお知らせ' (News from Allocation Institutions). At the bottom, there are four main navigation buttons: '研究者向けページ' (Researcher Page), '所属研究機関向けページ' (Affiliated Institution Page), '配分機関向けページ' (Allocation Institution Page), and '評価者向けページ' (Evaluator Page). Each button has sub-links for 'ログイン' (Login) and '各種様式' (Forms). A sidebar on the right contains links for 'お知らせ' (Notice), 'システム概要' (System Overview), 'ご利用に当たって' (When Using), '本システムで対象となる事業一覧' (List of Projects), 'リンク集' (Link Collection), 'よくある質問と答え' (FAQ), '所属研究機関登録申請等について' (About Registration), and '科学研究費補助金電子申請について' (About Electronic Application).

応募方法について(2)

JSTの研究提案書類の様式一覧

様式0	提案にあたっての調整状況の確認
様式1	提案書
様式2	研究課題構想(成果目標シート含む)
様式3	日本側研究実施体制
様式4	相手国研究機関実施体制
様式5	研究費計画
様式6	研究課題のキーワード
様式7	他制度での助成等の有無
様式8	研究代表者および研究代表機関事務担当者連絡先
様式9	機関長からの承諾書

応募方法について(3)

- 全領域を通じて、研究代表者として提案いただける研究課題は1件のみです。
- 領域ごとに、e-Radでの応募情報入力サイトが異なります。審査にも関わりますので、応募先の領域を間違えないようお願いいたします。
- 提案書様式0～9の全てに記載し、1つのファイルにまとめて下さい。

【日本側の研究提案に関する問合せ先】

(独)科学技術振興機構(JST) 地球規模課題国際協力室

TEL: 03-5214-8085

E-mail: global@jst.go.jp

【ODAに関する問い合わせ先】

(独)国際協力機構(JICA) 国際科学技術協力室

TEL: 03-5226-8105

E-mail: eigst@jica.go.jp

SATREPSのHP

http://www.jst.go.jp/global/index.html

SATREPSについて
SATREPSの活動事例
研究課題一覧
研究機関の皆さま
最新情報・コミュニティ
Friends of SATREPS

JSTとJICAは
地球規模課題の解決と科学技術水準の向上につながる、日本と開発途上国との国際共同研究を推進しています。

◎ SATREPSの活動を知ろう!!

ホーム >

SATREPSはどんな活動/研究をしているの? ◎ 活動事例一覧へ

■ 環境・エネルギー

【集めない】「集めない」水システム
～バタイビとアツバに～

資源のサイクルの中で水と衛生システム解決を連携しています。資源のサイクルをいかに断ち切るか? 本分野からの貢献を目指します。

■ 生物資源

生物資源の新しい価値
～インドネシアの農生物資源を活かす研究センター～

農産や畜産に役立つ特別な微生物の発見を行い、特性を明らかにするとともに、得られた微生物をほかで活用し、もたらす価値をデータベースにまとめることで、農生物資源の持続可能な利用と保全に役立てます。

■ 防災

予測モデルで地震、津波災害を予防
～地震の多い国、日本とベトナム、世界のために～

本研究室では、ベトナムにおける地震・津波被害の軽減を図るため、両国の研究者の深い連携のもと、地質特性を考慮した強固な防災研究で貢献します。

■ 惑星成

平成24年度 SATREPS研究課題募集
募集期間: 10月11日～12月31日

Friends of SATREPS
みんなで地球の未来を考えよう

Friends of SATREPSは、SATREPSの発起者・協力者が50社に賛助者のための産学研コミュニティです。

研究機関の皆さま

◎ 論文投稿・論文発表

SATREPSが掲載して欲しい論文/研究が秀をご教示します。

◎ 研究生の公募

SATREPSの活動/研究に携わりたい方

公募要領、e-Radマニュアル、成果目標シートなどの本公募説明資料がダウンロードできます。また、今後の公募に関するお知らせの情報や面接選考の日程等も順次こちらに掲載します。

SATREPS

ご参考

- 『Friends of SATREPS』への会員登録
(研究代表者及び研究チーム参加予定者)
- 提案課題に関するオンラインコミュニティの作成について

SATREPS

SNS【Friends of SATREPS】への会員登録（1）

会員登録はこちらから!

今すぐ利用する(無料)

SNS【Friends of SATREPS】への会員登録（2）

1. ログイン画面のフッターメニュー「利用規約、プライバシーポリシー」を事前にご確認の上、「今すぐ利用する(無料)」のボタンから新規登録用メールアドレス入力画面に移ります。

メールアドレス入力

表示されるキーワード入力

送信

ここで登録希望メンバーが自分のメールアドレスを入力すると、招待メールが送信されます。

2. 招待メール内のセッションつき URL を選択すると、登録画面へと遷移します。

注意： 1度送信ボタンを押すと、同じメールアドレスで新規の再登録ができないため、招待メールは消去しないようご注意ください。

SNS【Friends of SATREPS】への会員登録 (3)

2. 登録の流れ

入力画面のイメージです。可能な限り、プロフィールの入力は、日・英併記でお願いします。

プロフィール編集

*は必須項目です。

氏名*
Haruko Yamada 山田 花子
公開されます。Apex to members.
姓と名を併記 (FIRST/MIDDLE/LAST NAME) の併記 (In your language and in English)
原姓 (Name) also
(例: Haruko YAMADA 山田 花子)

所属機関*
Japan Science and Technology Agency 科学技術振興機構
公開されます。Apex to members.
姓と名を併記 (FIRST/MIDDLE/LAST NAME) の併記 (In your language and in English)
(例: Japan Science and Technology Agency 科学技術振興機構)

自己紹介*
公開されます。Apex to members.
可能な範囲で和英語と英語の併記 (In your language and in English, if possible)

登録した「パスワード」は忘れないでください。

パスワードを忘れた場合に必要とする「秘密の質問」と「秘密の質問への答え」も忘れないでください。

・登録確認画面

登録内容を表示し、登録メンバーが内容を確認して登録完了へ。修正する場合、入力された内容を残して再び登録情報入力画面へ。

・登録完了画面

登録が完了し、同時に登録完了メールが登録アドレス宛に送信されます。

提案課題に関するオンラインコミュニティの作成について(1)

3.2 ログイン・ログアウト

i) ログイン

ログイン画面にてメールアドレス・パスワードを入力し、トップページに移行します。

ログイン画面

みんなで地球の未来をQ&Aしよう
Friends of SATREPS

すでに登録済みの方は、
こちらからログインしてください。

メールアドレス
パスワード
パスワードを忘れた方はこちら

登録した「メールアドレス」と「パスワード」でログイン

JST 科学技術振興機構
Languages: 日本語 (日本)

「SATREPS (サトレプス)」は、地球規模課題解決のために日本と海外とが協力して取り組む国際共同研究を行う、JST-AGUのプログラムです。君がFriendsになって、みんなが地球の未来をQ&Aしよう!

「Friends of SATREPS」へようこそ!
ご利用ガイド

今すぐ利用する (無料)

ii) ログアウト

ログイン後のいずれの画面からでも「ログアウト」を選択すると、セッション情報を削除、ログイン画面に遷移します。

提案課題に関するオンラインコミュニティの作成について(2)

3.3 自分のページを閲覧

まず、「マイホーム」「マイプロフィール」の各ページを閲覧します。

1) マイホームページ

前項のログイン後に、即表示されるページです。

マイホームページの機能の詳細は、利用ガイドP8-9を参照。利用ガイドのリンク

↓
<https://fos.jst.go.jp/guide/UserGuide/ver.1.pdf>



「コミュニティ作成」は、こちらから！

提案課題に関するオンラインコミュニティの作成について(3)

提案課題のコミュニティのカテゴリは、「F: FY2012 SATREPS Application (平成24年 SATREPS応募)」を選択してください。

その他の必須項目(コミュニティ名、公開範囲、トピック作成権限、参加条件、説明文)を記入します。公開を選ぶと、メンバー外からも閲覧可能です。



必要情報を記入し、送信ボタンを押すと、コミュニティが作成されます。

提案課題に関するオンラインコミュニティの作成について(4)

コミュニティトップ画面です。

コミュニティトップ トピック イベント コミュニティ参加 お気に入り登録 友達を紹介する コミュニティを遊ぶ

The screenshot shows the community details for 'SATREPS secretariat /事務局 (17)'. The page includes a header with navigation links, a list of community members with their names and photos, and a detailed description of the community. The description states that the community is run by JST and JICA staff members to provide program information to the Friends of SATREPS. It also lists the community's purpose and provides contact information for the secretariat.

「コミュニティイベント」や「コミュニティトピック」を活用し、提案課題の形成・メンバー間の情報交流を図って頂くことも可能です。

公開範囲をコミュニティ参加者のみに設定すると、参加者のみイベントやトピックの内容を閲覧できます。

提案課題に関するオンラインコミュニティの作成について(5)

The screenshot shows the 'Friends of SATREPS' website. The search bar is highlighted, and the search results for 'FY2012 SATREPS Application (平成24年度SATREPS応募)' are displayed. The search results show a list of communities with their names, member counts, and descriptions.

その他の本公募に関心があるコミュニティを確認したい場合は、コミュニティカテゴリは、「F: FY2012... (平成24年度SATREPS応募)」を選択し、検索できます。

「詳細を見る」をクリックすると当該コミュニティに遷移します。



SNS【Friends of SATREPS】の 利用方法について

以下の「利用ガイド」をご活用ください。

■日本語サイト

https://fos.jst.go.jp/guide/UserGuide_ver.1.pdf

■英語サイト

https://fos.jst.go.jp/guide/UserGuide_English_ver.1.pdf



Thank you for your attention.

質疑・応答

Q & A